

オオサンショウウオの生息する広島県管理河川における 河川工事に関する検討会の第4回開催結果について

1 要旨・目的

本県が管理する河川の工事における国の特別天然記念物であるオオサンショウウオ（絶滅危惧Ⅱ類※）の配慮方針について、多角的な観点から学識経験者の意見を伺うため開催した第4回の結果について報告する。

※絶滅危惧Ⅱ類…絶滅の危険が増大している種

2 現状・背景

国の特別天然記念物であるオオサンショウウオは、生息・生育・繁殖可能性が高いと判断される場合には種に応じた環境保全を行うこととされており、本県では現地で生息を確認した河川工事において専用のブロックの採用等により配慮してきたところである。

令和6年度、オオサンショウウオが確認されている本県が管理する河川での工事において、オオサンショウウオの専門家より「生息に適さない河川工事が行われている」との指摘がなされている。

3 概要

(1) 開催結果

ア 日時

令和8年9月10日（木） 13:30～16:30

イ 場所

TKP ガーデンシティ広島駅前大橋ホール6 A

ウ 検討会構成員

（参考）検討会構成員名簿のとおり

エ 説明内容（委員会資料については後日県ホームページで公表）

議事	・第3回検討会の意見に対する事務局の提案等 ・配慮方針（素案）の提案
議論の内容	・これまで決まってきた内容を、配慮方針などに明確に記載するよう意見があった。 ・オオサンショウウオの配慮対象地域については、継続的にデータを蓄積することを前提として、毎年更新していくことで合意を得た。 ・重点的に配慮するような地域、オオサンショウウオの生息状況などの調査・評価の実施も検討してもらいたいとの意見があった。 ・今後、配慮方針などについては、早急に、書面等を含め構成員へ意見照会を行い、資料の内容をブラッシュアップする。

(2) 予算（補助事業・単県）

—

4 今後の対応

引き続き、検討会において丁寧に議論した上で、年度内の配慮方針策定を行う。

(参考) 検討会構成員 (◎…会長)

氏 名	意見を求める分野	役 職
阿部 勝彦	文化財	広島県文化財保護審議会委員 広島市安佐動物公園 園長
内田 龍彦	河川工学	広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
◎ 河合 幸一郎	生物環境	広島大学 名誉教授
金田一 智規	環境保全工学	広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
清水 則雄	オオサンショウ ウオ	広島大学オオサンショウウオ保全対策 プロジェクト研究センター長
内藤 順一	希少生物	レッドデータブックひろしま爬虫類・両生類調査部会 調査委員代表